

観光人材確保へ本腰

県、いわて産業振興センター

あす盛岡でセミナー

東京来月マッチング行事

県といわて産業振興センター（盛岡市）は今月から、観光関連産業の中枢を担う人材確保支援に力を入れる。4日の採用力向上に向けたセミナーを皮切りに、北東北3県合同で大手人材会社のウェブサイトに会社紹介・求人情報を掲載。1月下旬には東京で合同マッチング行事も開き、地方創生の鍵とされる観光業の成長を、人材の面から後押しする。

同日のセミナーは盛岡市内のホテルで開催。人材紹介大手パーソルキャリア（東京）人材紹介事業部地域創生推進室の伊藤鑑室長が観光産業の求人課題や効果的な求人手法を説明。組織人事戦略コンサルタントの中島篤さんが、観光産業の求職者を引きつける魅力について講演する。実際に人材の採用を希望

する数は1月下旬、北東北3県が東京で合同開催する企業と求職者のマッチングイベントに参加。参加企業の企業紹介・求人情報はセミナー後、パーソルキャリアのウェブサイトに掲載する。同社や、都市部から地方企業に人材を紹介する内閣府事業の本県窓口「県プロフェッショナル人材戦略拠

点」が連携する人材紹介事業者の登録者のうち、東北や観光関連に関心がある人にメールを送信。反応があった人に電話をし、採用の可能性を高める。一連の事業費は約1200万円。

同拠点によると、セミナーを前に県内の観光関連事業者約180社に行ったアンケートで、ホテルなどのシェフや支配人が不足している傾向がみられた。一方、全国的に観光関連の人材紹介は、労働時間の長さや給与面を背景に他業種に比べ進んでいないのが現状。同拠点の成約事例もない。同拠点の斉藤博之マネジャーは「国内客が多く来る

地域、イベントの回数が多い地域の方が、客単価が高い傾向にある。他の観光地や集客施設との連携を含め、企画力の高い人材を採用することも重要になる」と指摘する。

県雇用対策・労働室の高橋利明雇用対策課長は「セミナー、イベントなどを通じて、地方創生推進に不可欠となる観光産業を人材採用の面から支援したい」としている。